

敵山さんに聞く!

# 食の安全・安心

科学的な視点から、  
食の安全・安心について学ぶコラムです。

## 意外と身近で危険な自然毒

2019年4月、群馬県の夫婦が知人から譲り受けたイヌサフランをギョウジャニンニクと思って食べて食中毒になり、重症だった夫が死亡したと報道されました。イヌサフランにはコルヒチンという強い毒物が含まれ、過去にも死亡事例が報告されています。**食品に含まれる化学物質が原因となって死亡する事例はそれほど多くはないのですが、その数少ない事例のほぼ全てが天然の動植物に含まれる毒素が原因です。**フグ毒、キノコの毒も命に関わるものです。そこまで重症にはならないものの、毎年のように中毒事例が報告されているのはスイセンをニラと間違える事故です。今年も消費者庁が注意喚起したその直後に何件か報告されました。天然・自然だから安全、毒があっても大したことはないとは決して思わないでください。

## 子どもたちの「食育」の現場でも...

そして、特に気になるのが小学校でのジャガイモによる食中毒です。ジャガイモにはソラニンやチャコニンという毒素が含まれているのですが、この毒素は未熟なものや傷がついたり光に当たったり芽が出たりすると増えて、食べると腹痛や下痢・嘔吐といった中毒症状を起こすようになります。この**ジャガイモ中毒の発生が特に多いのが小学校なのです。**原因は小学校低学年の生活科で、ジャガイモを育てて食べるという授業が行われていることのようにです。学校の先生が指導している授業で子どもたちが中毒になっている、しかも文部科学省や保健所から注意するように通知が出されているにも関わらず、繰り返し事故が起きている。このことが象徴するのは、学校の先生

今月のテーマ

## 身の回りに潜む天然・自然の「落とし穴」

が食品の安全性についてあまり理解していないまま教えている、ということです。生きる力を育むのなら身近にある毒について知って、それらへの適切な対処法を教える必要があるのですが、一部の先生はともすると食品添加物や農薬のような人工の化学物質ばかりを悪者にして、自然に潜む有害物質をそれほど重要視しない場合があるようです。食品ではありませんが、校庭などに植えられているアセビやキョウチクトウも、花はきれいですが有毒なので、遊び道具などにしないように注意が必要です。

このように、毒がある動植物は身の回りにたくさんあるので、毒のことを知って、紛らわしいものはむやみに口にしたり触れないなど、上手に対処していきましょう。


なお、ジャガイモの栽培については農林水産省が動画やリーフレットを作成して詳しく情報提供をしていますので、ぜひ参考にしてください。

■ジャガイモによる食中毒を予防するために  
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/foodpoisoning/naturaltoxin/potato.html>

教えてくれるのは...

うねやま ちかこ  
敵山 智香子さん

国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長  
東北大学薬学部卒、薬学博士。生化学、薬理学を専攻して食品や医薬品の安全性研究に従事し、2003年以降食品中の化学物質の安全性に関する情報収集と提供を主に行ってきた。  
主な著書は、「ほんとうの『食の安全』を考えるーゼロリスクという幻想」(化学同人)、「『健康食品』のことがよくわかる本」(日本評論社)など。



vol.5

# 安全・安心

今月のテーマ

## 悪質な訪問買い取り(訪問購入)にご注意を!

安全・安心な暮らしを支えるために、暮らしに潜む消費者トラブルから身を守るための情報を、京都府消費生活安全センターからお届けします。

消費者庁 消費者ホットライン188 イメージキャラクター「イヤヤン」

「不用品を買い取ります」「いらない食器や服はないか」と電話で勧誘して消費者宅を訪問して買い取る「訪問買い取り」。しかし中には、消費者が売ろうとしていたものではなく、売る気のない宝石や貴金属を強引に買い取っていく悪質な手口が報告されています。

契約書面を受け取ってから8日間は業者に物品を渡さず、手元に置いておくことができるほか、無条件で契約を解除することができます。

※ただし、大型家電、自動車(2輪除く)、家具、本やCD・DVD・ゲームソフト、有価証券などは規制の対象とならない場合があります。困ったときは消費生活センターなどへ相談しましょう。

### トラブルを避けるには?

- 突然の訪問で買い取りの勧誘をすることは法律で禁止されています。**事前の連絡もなく突然訪問してきた買い取り業者は家に入れないようにしましょう。**
- 購入業者は買い取り時に、連絡先や買い取った物品や価格、クーリング・オフ制度などについて記載された書面を消費者に渡すことが義務付けられています。**

消費者ホットライン(全国共通)

い や や!  
188  
(局番なし)

お近くの消費生活センターにつながります

京都府消費生活安全センター

消費生活相談 075-671-0004  
9:00~16:00(平日)  
\*年末年始休

土日祝日相談(緊急のみ) 075-257-9002  
10:00~16:00(土日祝)  
\*年末年始休

## 京都生協 検査・点検報告 残留放射性物質の検査の詳しい内容を京都生協ホームページで公開中!

### (有)トッピーバー「レタス」

(有)トッピーバーでは、長野県の浅間山の麓、標高600~1,500mという立地をいかしてレタスなどを栽培しています。農薬は適切な時期に使用して散布回数を減らす、なるべく除草剤は使用しないなど、安全な野菜づくりを行っています。しっかりしたしくみの中で、若い生産者の皆さんが、改善を重ねながらがんばっていることを確認しました。



▲生育中のレタス (撮影は4月中旬です)



▲農薬保管庫で在庫数などの照合中

### <5月度検査結果>

|             |                  |     |
|-------------|------------------|-----|
| 農産物残留農薬検査   | 5 検体             |     |
| 米の残留カドミウム検査 | 2 検体             |     |
| 卵質検査        | 918検体            |     |
| 鶏卵サルモネラ検査   | 14検体             |     |
| 微生物検査       | 店舗調理商品           | 66件 |
|             | 京都商品             | 30件 |
|             | その他              | 84件 |
|             | 京都協同食品プロダクト(株)商品 | 6件  |
| 残留放射性物質検査   | 0件               |     |



京都生協の点検項目・検査基準に照らし安全に供給できることを確認しました。